

サーバス東海北陸支部 会報 9月号

発行日: 2024年9月吉日

東海北陸支部長: TM



もう過ぎてしまった
いま来てもつぐなえぬ
一生は過ぎてしまったのに
あけがたにくる人よ
ててっぼっぼうの声のする方から
私の方へしずかにしずかにくる人よ
足音もなくて何しにくる人よ
涙流させにだけくる人よ



(詩人・永瀬清子作・一部抜粋より)

これは詩人・永瀬清子さんが81才の時に書いた詩「あけがたにくる人よ」を一部抜粋したものです。愛知県碧南市のSさんのお好きな詩です。その中でも、特にお気に入りの部分を紹介していただきました。

皆さん、お変わりありませんか。やっと冬眠ならぬ夏眠?! から目覚めて、動き始めた支部長・Tです。

さて今月号も、興味深い体験記・旅行記・ミニレポ等をお楽しみ下さい。

<本号の内容>

- ① ホームステイ受け入れ体験記 by YYさん
- ② ドイツ旅行記 by KNさん
- ③ MさんとSさんの「夏、こう過ごしたよ〜。」ミニレポ
- ④ 例会予告と編集後記

① ホームステイ受け入れ体験記

By YY

今年5月16日、突然にホームステイをしたいとのメールが届いた。インターンシップで、東京に二か月滞在している女子学生からだった。



ここ10年近くも、サーバスのホームステイは受け入れていないこともあり躊躇した。しかし、女子大生1人だし、和室も空いているからと受け入れを決めた。ただ、主人は緊張するからと反対の立場なので黙っていた。

その後、何度かのメールのやり取りの中で、彼女の名前はM・Tさん。ドイツに住む医学部在籍の女子大生であること、東京の医大でインターンシップ中であるとわかった。

その時点では、まだ主人には話してない。ステイの数日前にホームステイを受け入れると話したら、あっさりOKが出て拍子抜けした。

受け入れ前日・5月22日、主人が腹痛でかかりつけの医院に行くと、あっさりと盲腸と診断された。化膿しているということで、緊急手術・入院となった。



ひつまぶし



受け入れ当日・5月23日に、Mさんと名古屋駅で会った。なんと彼女は、バスでやって来た。まずは名古屋飯をと考え、駅地下街で味噌カツや手羽先を堪能してもらった。

その後、彼女リクエストの名古屋城に向かった。事情を話し、名古屋城の入り口まで送り、私は近くに入院中の主人を見舞った。

帰宅後はお好み焼きや、牛丼など簡単な料理を出した。彼女の好奇心は強く、いろいろ質問攻めにあった。日本の病院制度・学校制度、さらには私がボランティアで関わっている婚活の話にまで及んだ。

私は、彼女のファミリーネーム・Tに興味をわき、親戚かと尋ねると何度も同じ質問をされたので慣れているとの答えが返ってきた。お互いに笑いあった。

次の日・5月24日は、希望の熱田神宮を案内した。参拝した後は、宮きしめんに行き、きしめんや天むすを賞味した。私の実家や有松にも行き、絞り体験を楽しんだ。

夕食には娘と孫たちも加わり、近所でひつまぶしの食事をした。娘も医療関係者なので、とても話が弾んでいた。

5月25日、彼女はお父さんの知人がいる京都に向かった。

結局、その間主人は入院中。彼女に会うことはなかった。

本当にバタバタした慌ただしい毎日だった。

でも、たまにはホームステイの受け入れも悪くないと感じた。

有松の古い町並みをバックに、パチリ📷



② ドイツ旅行記

2024. 5.22-6.10

BY KN

サーバスの仲間から声をかけていただき、ドイツへ旅行してきました。5月25日フランクフルト集合、6月6日ベルリン解散の旅です。3回目のドイツでした。

友人2人と私の3人組は5月22日に日本を発ち、5月23日フランクフルトから国境を越えて仏ストラスブールへ旧友を訪ねました。アルザスの文化が香る街を3日間歩き、豊かな朝市や名物の鴨料理。そしてコウノトリの群れを楽しみました。



集合地フランクフルトに5月25日に戻り、ホスト宅に3泊4日お世話になりました。ライン川沿いのワイナリーや郊外の古城を巡りました。一行は10人でしたが、2人はフランスへ向かい、8人でドイツの6都市を訪れました。

5月28日シュツツガルトへ移動。生後2か月の赤ちゃん連れのホストや車椅子生活のホストの出迎えを受けて感動しました。ホスト宅に2泊3日滞在し、村の行事に参加したり、美しい学園都市チュウビンゲンへ出掛けました。

3日後ミュンヘンへ移動。陽気なドイツ人グループは列車の中へ、ビールサーバーを持ち込んでいました。彼らの強いお勧めで何杯もご馳走になりました。ミュンヘンでは6月というのにオペラ“ノルマ”を鑑賞できました。



ニュウルンベルグでは風情ある旧市街を散策し、ヒットラーのナチス蜂起の跡地などを見学しました。ここでもホスト宅に2泊3日滞在し、手厚いもてなしを受けました。私は4都市に1人で滞在しました。

ライプチヒでは、バッハが音楽監督であったトーマス教会やベルリンの壁崩壊へと繋がる一步を人々が踏み出したニコライ教会等を訪問し、深い思いを巡らせました。

友人とドレスデンに日帰り旅行をしました。第2次世界大戦で壊滅的な被害を受けながらも、その後、劇場などを見事に復元しており、驚きの感動でした。



◀Das ist Lecker! 美味しい!



◀・青いビールサーバー-PLOST！！

6月5日に到着したベルリンでは Hostの皆さんが国会議事堂、ベルリンフィ
ル少数メンバーによるランチコンサート、ユダヤ人犠牲者記念館等をご案内下
さいました。

6月7日解散。各自ポーランドへ、オランダへ、帰国の途へと。私たち3人組
はボン、コブレッツ経由でモーゼル河沿いにトリアーへ向かいました。古代ロ
ーマ帝国の一部であった時代の大きな都市遺跡が残っていました。14年前に
我が家に来たB & I 夫妻との再会が大きな楽しみでした。歓待していただき、
丘の上のお住まいで、ブドウ畑を吹き抜ける風と遺跡を満喫しました。

旅の初めの3日間と終わりの3日間に懐かしい再会を果たしました。トラベ
ラー受入れあつてのサーバス旅行かなと思いました。



この旅で強く感じた事:

1) ドイツ人がSDGsを、当たり前実践しているのに感心しました。
そして、わが身を反省しました。

プラスチックバッグを、ほとんど見ません。コンポストの徹底利用、どこへ行くにも自転車を使う等々。

2) 6都市を列車で移動した費用は、わずか1人14000円。以前は紙の列車チケットも、今では全てスマホ管理。

ITに精通すること＝旅の達人？ これも猛省しました。

ドイツ **Servas Host** の皆様と旅のお仲間へ感謝です。詳しくは本部会報「8月号」をお読み下さいね。日本サーバスwebページを開けてみて下さい。

③「夏、こうすごしたよ～」Sさん・Mさんの巻・ミニレポ

<Sさんの夏レポ>

皆さんと、たぶん変わることなく、エアコンの部屋での囚われの身としての夏でした。いやいや、私は活動的でしたよ～という方がおられましたら、そのコツをお伺いしたいところであります。

<Mさんの夏レポ>

この夏も我が家は外出自粛中で、一人旅禁止。家族温泉旅行もなく、暑さ寒さに弱い家人は夏と冬、ほぼ家ごもりです。図書館通いのみが通年行事。今は稲垣えみ子の著作に集中しています。「魂の退社」「一人飲みで生きていく」「もうレシピ本はいらない」・・・などを順次読むうちに夏が過ぎます。

* 写真は、Nさんの畑で育った小玉スイカ達！

ご主人のお世話をたっぷり受け、甘く美味しく育ったそうです！最近スーパーでは、果物の値段が高いですね。でもN家では自家農園の野菜や果物を、遠慮なく?!どっさり食されているそうですよ。
良いですね～。



①例会予告&編集後記

<例会予告>

下記のように、秋の例会を予定しています。

11月9日(土)、11時30分から。会場は、名古屋駅近くです。

詳細は、10月初旬頃に案内します。スケジュールに入れてちょーよ。待ってるでねえ。

難しい話は、ちょこっと脇に置いて、久しぶりに会った喜びを爆発して欲しいと思っています。

<編集後記>

・花とスイカの写真は、Nさんの提供です。タイタンピカスという名前の花。津市の赤塚植物園が開発したものです。色鮮やかで、綺麗ですね。

・Sさんのお気に入りの詩を、ぜひ検索して全部読んで見て下さい。人生色々、さて貴方はどう読み感じるでしょうか。

・Yさん、久々のサーバスゲストの受け入れお疲れ様。ハプニングがあったにもかかわらず、ゲストとの交流をご主人抜きで、でら〜楽しんどったがやあ。

・アクティブなKさんには、いつもいつも脱帽です。サーバスゲストとの再会は、本当に嬉しいものですよね

・SさんとMさんの夏レポ、あるあるでしょうか?!それともえーっ?!

・皆様のご協力、有難うございます。快く寄稿していただき嬉しいです。

11月9日の例会が待ち遠しいがやあ。なんべんも言うけど、例会で会えるのを楽しみにしてるでね!!

2024/6月・鉄道一人旅の写真から📷
石巻駅

